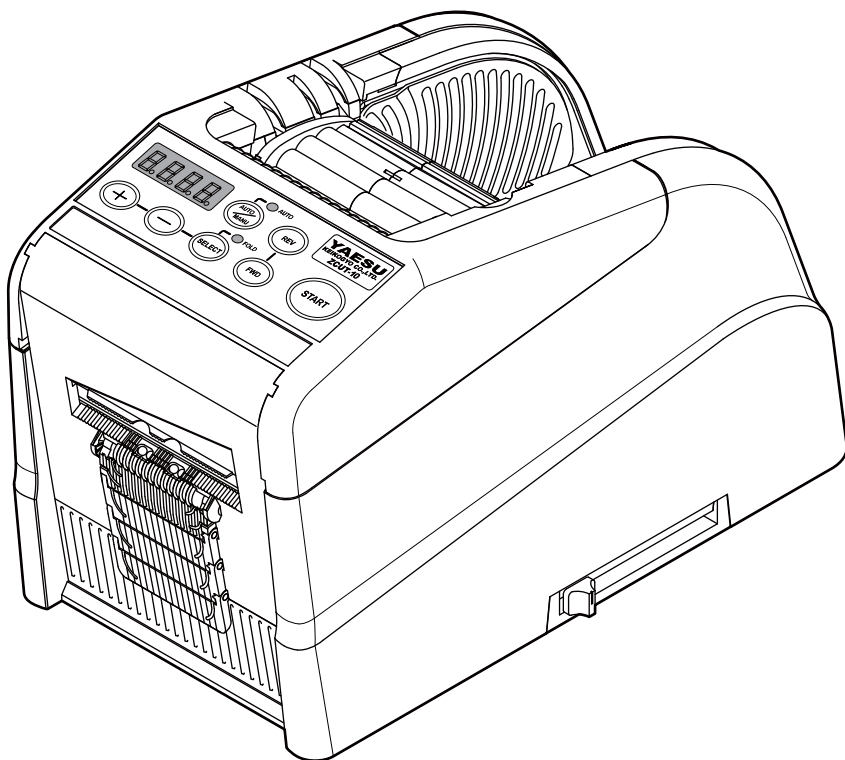


Yaesu

AUTO TAPE DISPENSER

ZCUT-10

取扱説明書



保証書は本書内に記載されています。

はじめにお読みください

このたびは、ZCUT-10型をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本機は当社従来製品の便利な機能を継承し、新たにテープ先端をタブ状に折り返す前折り機能を搭載しました。

生産現場でのテープ除去工程に於いて、また最終顧客のテープ剥がしに多大な効果を発揮します。

本機を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、すぐ取り出せる所に保管し、必要に応じてご利用ください。

なお、この取扱説明書は保証書を兼ねています。

修理の際に必要となりますので、P16の保証書に必要な事項をご記入のうえ大切に保管してください。

また、記載事項に不足、誤りがあると保証期間内の故障であっても無償修理が受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

目次

| | |
|------|------------------------|
| P3 | 安全上のご注意 |
| P3-4 | 記号表示について/警告/注意 |
| P5-6 | 本体各部名称 |
| P7 | テープセット |
| P8 | カット長の設定 |
| P8-9 | モード設定 |
| P10 | カールし易いテープを使用する |
| P10 | 細いテープを使用する/テープを2本掛けにする |
| P10 | その他の機能 |
| P11 | ブレードユニットの交換 |
| P11 | お手入れ |
| P12 | エラーメッセージ |
| P13 | 故障診断 |
| P13 | 仕様 |
| P14 | 保証とアフターサービス |
| P14 | 修理を依頼されるときは |
| P16 | 保証書 |

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。

いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

この取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意を示します。
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。









禁止行為を示します。
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。













行為を強制したり指示したりすることを示しています。
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。

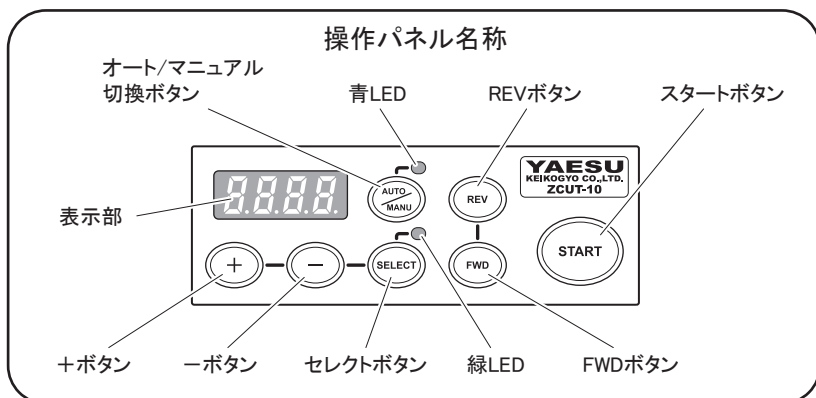
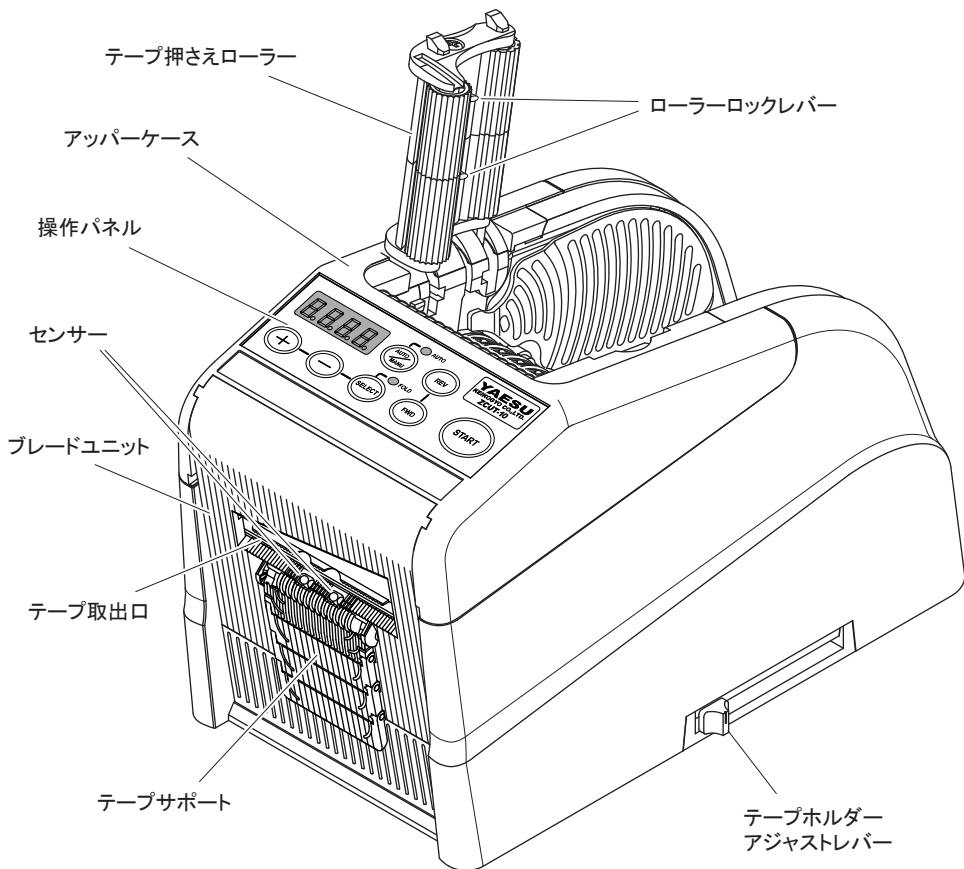
警告

-  濡れた手で電源プラグの抜き差し、又は本機の操作をしないでください。
感電の原因になります。
-  テープ取出口の中に指などを絶対に入れないでください。
思わぬケガの原因になります。
-  回転部分に毛髪などを巻き込まれないように注意してください。
思わぬケガの原因になります。
-  本機は業務用機械です。取り扱い方法を熟知しない人や、特に子供が興味本位に
触れないよう、十分気をつけてください。
思わぬケガの原因になります。
-  ブレードユニットの交換やお手入れ、点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜い
てください。
思わぬケガの原因になります。
-  本機はテープの切断以外の目的に使用しないでください。
思わぬケガや故障の原因になります。

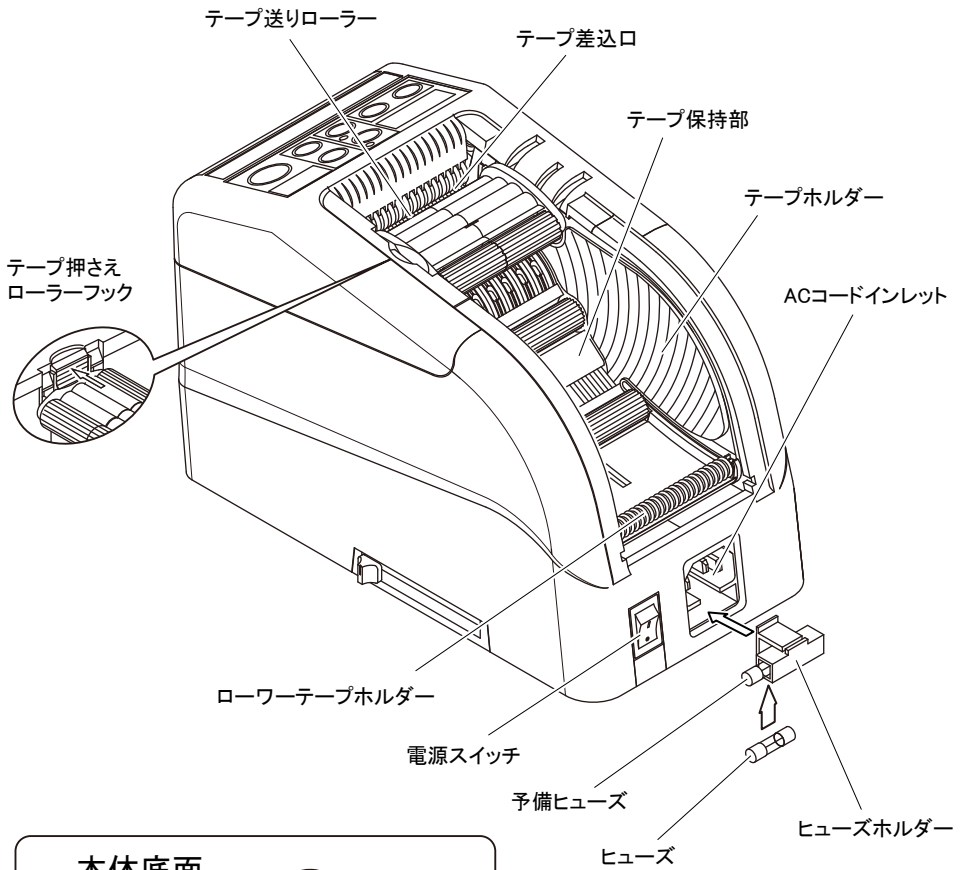
注意

-  本機を濡らしたり、水のかかる場所に設置しないでください。
感電や故障の原因になることがあります。
-  本機の改造、分解は絶対にしないでください。
思わぬケガや故障の原因になります。
-  電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
コードを引っ張ると、断線によるショートや感電の原因になります。
-  テープ取出口の中に異物を絶対に差し込まないでください。
故障の原因になることがあります。
-  本機を使用している間は、必ず作業者がそばに付いてください。また機械を離れる
時は電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬケガの原因になります。
-  電源コードを破損するようなことはしないでください。
傷つけ、改造、引っ張り、重いものを乗せる、挟み込む、など電源コードが破損し、
感電、ショート、発火の原因になります。
-  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全の場合、接触不良による発熱、火災の原因になります。
-  極端に温度や湿度の高い場所やホコリの多い場所での使用は避けてください。
故障の原因になります。
-  安定した水平の場所に設置してください。
ぐらついた台の上などに置くと、製品が落下してケガや故障の原因となることがあ
ります。
-  本機の使用が終了したら、必ずテープを外してください。
テープによっては、巻き癖、ノリの付着等による故障の原因になります。

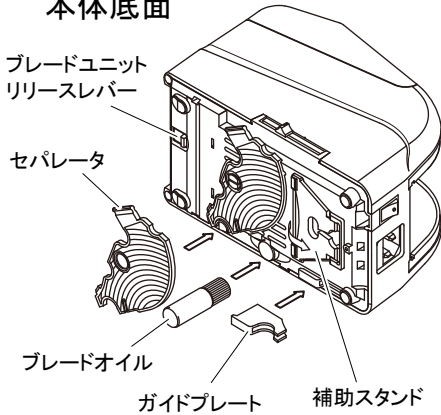
本体各部名称



本体各部名称



本体底面



テープセット

- 本機に付属のACコードを本体後ろ側のACコードインレットに確実に差し込みます。
- アース線をアースターミナルに接続します。
- 電源スイッチがOFFの位置になっている事を確認した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源スイッチをONにします。

- ・電源スイッチをONにすると起動音が鳴り、表示部にカット長さ設定が表示されます。(前回使用した時に設定したモードでONになります)
- ・出荷時は、マニュアルモード、タブ折りモード解除の状態です。

- テープ押えローラーを外側に押し、テープ押さえローラーを開けます。

- テープ保持部にテープを乗せます。

- テープホルダーアジャストレバーを前後に動かして、テープホルダーの左右幅をテープ幅に合わせます。

- ・テープホルダーがテープ側面に接触したら、テープホルダーアジャストレバーを若干戻し、テープがスムーズに回転するようにセットしてください。
- ・テープ外形が大きく、テープ保持部から落ちそうになった時は、ローラーテープホルダーを適宜引き出してください。

- テープ送りローラーに粘着面を下向きにしてテープ先端を乗せます。

- FWDボタンを押してテープ取出口からテープ先端が出るまで送ります。

- ・テープの展開力が強い場合は、テープを多めに引き出してテープ差込口に挿入し、FWDボタンを押してください。

- ・FWDボタンは、ボタンを押している間だけ作動しますので、少しずつテープを送るようにボタンを押す時間を加減しながらテープセットしてください。

- テープをテープ保持部に乗せ直し、テープ押さえローラーを閉めます。

- スタートボタンを押します。

- ・FWDボタンを操作した後にスタートボタンを押した場合のみ、スタートボタンを押すと同時にカッター刃が作動し、テープ取出口から出ているテープをカットします。カットされたテープを取り除いてください。この状態で次ページ以降の各種設定を行なってください。



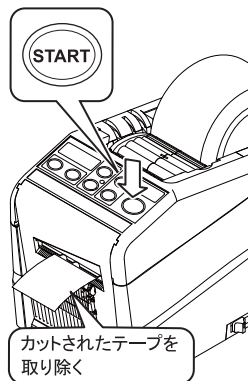
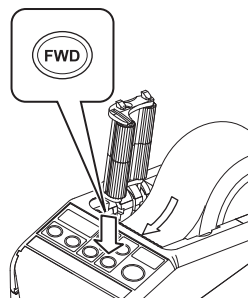
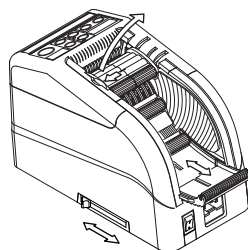
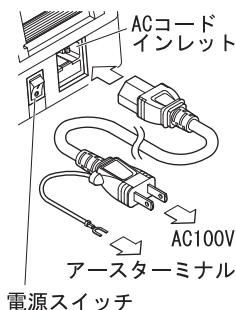
短くカットしたテープを取る時はピンセット等をご使用ください。



テープセットをする時は必ず粘着面を下にしてください。粘着面を上にしてテープセットすると、テープ送り不良や故障の原因になります。

- セットしたテープを引き抜く時はテープ保持部からテープを取り出し、テープを後ろに引きながらREVボタンを押してください。

☆10mm幅以下のテープを使用する場合や、15mm幅以下のテープを2本掛けで使用する場合は、P10を参照してください。



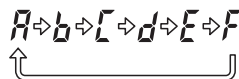
カット長の設定

■カット長をセットします。

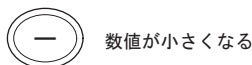
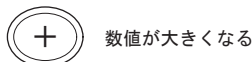
- ・+ボタンまたは-ボタンを押してカット長をセットします。
- ・本機は6種類のカット長を設定できます。必要に応じてA~Fのカット長表示をセレクトボタンを押して選択し、カット長をセットします。(カット長は5mm~999mmの範囲でセットできます)
- ・+ボタン、-ボタンは短く押すと1mmずつ表示が変わり、長押しすると早送りになります。

※ご注意

- ・テープの種類や使用環境により、カットしたテープの長さがセットした数値と同じにならない場合があります。その場合は、カットしたテープの長さを測定し、誤差分を修正してご使用ください。
- ・bからFは5mm設定から-ボタンを押すと0になりますが、0表示のままスタートボタンを押してもエラー音が鳴って作動しません。
- ・タブ折りモードの時は、最短カット長設定が15mmとなります。



カット長をセット



モード設定

本機は使用状況に応じて使い方の設定ができます。

以下のモード設定を有効にご利用ください。

マニュアルモード(LED消灯)

■青LEDが消灯状態になっている事を確認します。

- ・青LEDが点滅または点灯状態の時は、オート/マニュアル切換ボタンを押して青LEDを消灯状態にします。

■スタートボタンを押す毎に1枚ずつテープを送り出してカットし待機します。

オートモード(LED点灯)

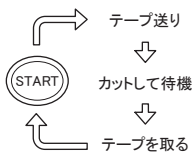
■青LEDが点滅状態になっている事を確認します。

- ・青LEDが消灯している時は、オート/マニュアル切換ボタンを押して青LEDを点滅状態にします。
- スタートボタンを押してテープを送り、カットします。
- ・カットしたテープがテープ取出口で待機状態の時、青LEDが点灯状態になった事を確認します。
- ・テープ取出口で待機しているテープを取ると、自動的に次のテープを送り出してカットし待機します。

オート/マニュアル切換操作

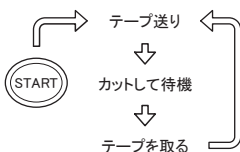


マニュアルモード ● 消灯



オートモード ● 切換時点滅

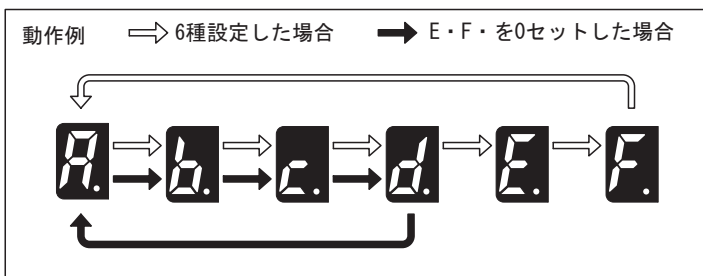
● 正常作動時点灯



順送りカットモード

予めセットしたカット長をAからFまで順番にカットするモードです。
下図のように、動作はエンドレスとなります。
このモードは他のモードと併用する事ができます。

- P7の手順でテープをセットします。
- AからFまで順番にカットしたい長さをセットします。
- 余ったカット長設定部はカット長を0にセットします。
・0にセットすると、0セット部をスキップして動作します。
- 最初にスタートさせたいセット長を表示します。
- オート/マニュアルボタンを1秒以上長押しします。
・オート/マニュアルボタンを長押しするとブザーが鳴り、アルファベット表示の右下に「・」が点灯します。
- オート/マニュアルボタンを押して、オートモード、マニュアルモードを選択します。
- スタートボタンを押すと、表示された長さをカットして待機します。
・マニュアルモードの時、カットされたテープを取ると次にカットされるカット長さを表示します。
・オートモードの時、カットされたテープを取ると次のカット動作に移ると共に、次のカット長さを表示します。
- 順送りカット機能を解除する時はオート/マニュアルボタンを長押しします。
「・」表示が消えた事を確認してください。

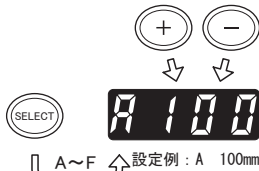


タブ折りモード

テープ先端を折り返してタブ状にするモードです。
このモードは他のモードと併用する事ができます。

- セレクトボタンを1秒以上長押しします。
・セレクトボタンを長押しすると、緑LEDが点灯します。
・テープがセットされた状態でスタートボタンを押すと、テープをセット長さ分送り出してカットし、タブ折りした状態で待機します。
次にスタートボタンを押した時からタブ折りしたテープが出ます。
- 他のモードを作業に合わせて設定してください。
- タブ折りモードの時は、最短カット長は15mmとなります。
・タブは約7mmに折り返され、長さ変更はできません。
- タブ折りモードを解除するときは、セレクトボタンを1秒以上長押しします。
・緑LEDが消灯して、タブ折りモードが解除された事を確認してください。

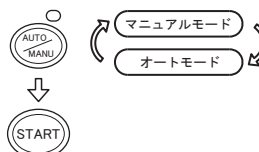
カット長をセット



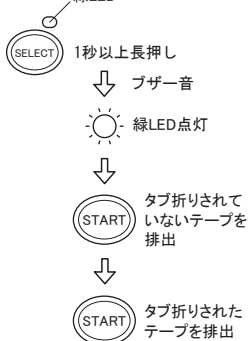
順送り機能セット



オート、マニュアルモード
セット

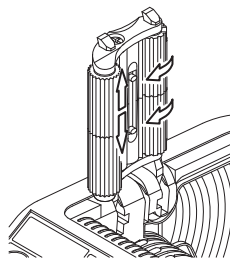


緑LED



カールし易いテープを使用する

- テープ押さえローラーフックを外側に押し、テープ押さえローラーを開けます。
 - ローラーロックレバーを外側の位置にします。
 - テープに当る側のローラーを回転がロックするまで回します。
 - テープ押さえローラーを閉めます。
- ・テープの種類や条件によっては引き出されるテープの長さに変化する場合がありますので、予めテストの上、誤差を修正してお使いください。



細いテープを使用する／テープを2本掛けにする

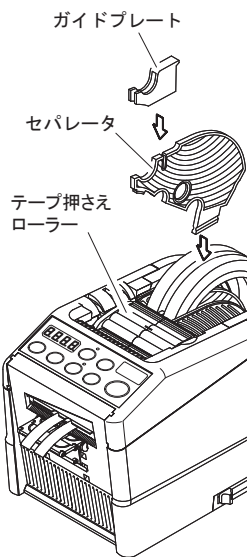
25mm巾以下のテープを使用する場合はセパレータを使用してください。
また、10mm巾以下のテープを使用する場合はセパレータにガイドプレートを取り付けて使用してください。

25mm巾以下のテープは、2本掛けで使用することができます。

- 本体底部にあるセパレータを外します。
 - テープ押さえローラーフックを外側に押し、テープ押さえローラーを開けます。
 - セパレータをテープ保持部の中央にある溝2箇所に差し込みます。
 - 10mm巾以下のテープを使用する時は、セパレータにガイドプレートを取り付けて使用します。
- ・本体底部にあるガイドプレートを外してセパレータに取り付けます。
- テープ保持部にテープをセットし、テープホルダーアジャストレバーを前後に動かして、テープホルダーの左右幅をテープ幅に合わせます。
 - テープセット、モード設定を行います。
- ・オートモードの時に2本掛けで使用する場合、テープ取出口で待機しているテープの両方を取ると、テープを送り出してカットし待機します。

※ご注意

- ・セパレータ、及びガイドプレートを使用しない時は本体底部のホルダーに戻し紛失しないように注意してください。

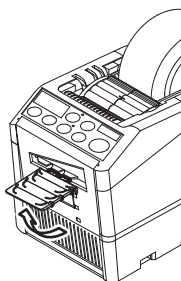
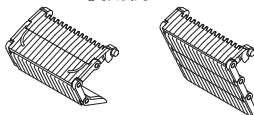


その他の機能

テープサポート

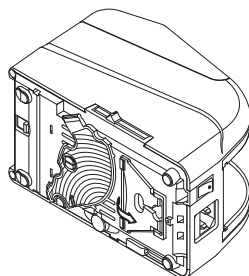
テープの種類や作業内容により、テープサポートを起こして使用してください。

使用例



補助スタンド

テープの種類や作業内容により、補助スタンドを起こし、本体を下向きにして使用してください。



ブレードユニットの交換

■本機のブレードはユニット交換となります。

- ・電源スイッチをOFFにします。
- ・ブレードユニットリリースレバーを手前に引き、ブレードユニットを引き上げるように取り外します。
- ・新しいブレードユニットの下側ブレード刃面が、ブレードユニットのテープ取出口開口部下縁と同じ位置にある事を確認します。
- ・ブレードユニットの下側ブレードがブレードユニット開口部下縁と同じ位置にない時は、ブレード下の穴にドライバー等を差し込んで下端まで押し下げてください。
- ・ブレードユニットを本体に差し込みます。その際、ブレードユニットが確実に固定されるよう、しっかり押し込んでください。

お手入れ

■ブレードのクリーニング

テープの種類によってはテープの粘着剤がブレードにこびり付くことがあります。その場合は、ブレードユニットを本体から取り外してクリーニングしてください。

- ・電源スイッチをOFFにし、ブレードユニットを本体から取り外します。
- ・ウェスや綿棒に少量のアルコール等を塗布し、粘着剤を拭き取ります。
- ・ブレードユニットを本体に取り付けます。

■ブレードユニットの注油

本機の作動を円滑にするため定期的に注油してください。

- ・電源スイッチをOFFにし、ブレードユニットを本体から取り外します。
- ・ブレードユニット裏面にある注油口からブレードオイルを適量しみ込ませます。
- ・下刃ガイドにブレードオイルを少量塗布します。
- ・ブレードユニットを本体に取り付けます。
- ・注油口の外に付着したオイルは綺麗なウェス等で拭きとってください。
- ・オイルの付け過ぎに注意してください。
- ・ご使用になる前に必ずテストカットしてください。

■センサー周辺

テープ取出口の下にあるセンサー開口部が塞がれてしまうと、テープの有無を検知出来なくなります。

- ・センサー周辺は常に綺麗にしてください。
- ・センサー開口部内にテープの切り屑等が入っていたら、センサー本体にキズを付けないよう注意して切り屑を取り除いてください。

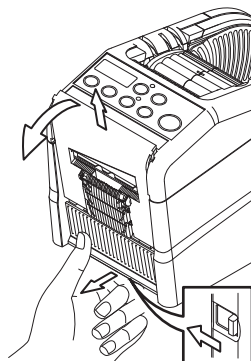
■ローラーユニット

テープの糊カスがローラーに付着している時は、P13の要領でローラーユニットを本体から外して清掃します。

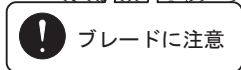
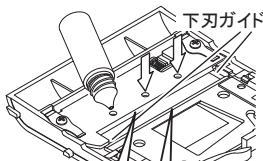
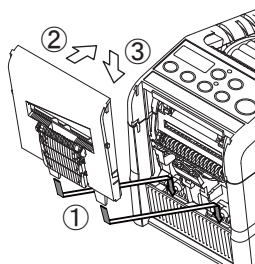
■本体のクリーニング

中性洗剤を適量入れた水にウェスを浸し、固く絞って本体を軽く拭いてください。溶剤は、絶対に使用しないでください。

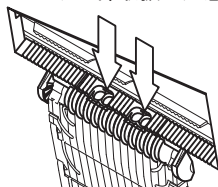
ブレードユニットの取り外し



ブレードユニットの取り付け



センサー一部取扱い注意



ブレードユニットの交換やメンテナンスを行う際は、ブレードに絶対触らないようご注意ください。

テープ詰まりが起きた時は

マニュアルモードで使用、スタートボタンを押してもテープが出てこない/オートモードで使用、テープを取っても次のテープが出てこない/モーターの作動音は聞こえるのにテープが出てこない

このような時は、本体内部でテープ詰まりが起きています。

テープ詰まりが起きた時は、速やかに作業を中止し、以下の要領で復帰してください。

■テープ押さえローラーを開けます。

■REVボタンを押しながらテープを後ろに引き抜きます。

■電源スイッチをOFFにし、電源コードを本体から外した後ブレードユニットを外して本体内部を確認します。
・本体内部やローラー、ブレードユニットにテープカスが付着している時は、ピンセットなどを使用して除去します。

■ブレードユニットを取り付けます。

■電源コードを本体に接続し、電源スイッチをONにします。

■通常の手順に従ってテープをセットしてください。

上記の作業手順でテープが本体から引き抜くことが出来ない時は、以下の手順に従ってください。

■電源スイッチをOFFにし、電源コードを本体から外します。

■アッパーケースを開けます。

①アッパーケースを手前に引き出します。(2mm程度)

②アッパーケースを手前に引いたまま上げると開きます。

■電源コードを本体に接続し、電源スイッチをONにします。
(アッパーケースが開いている時、操作基板はタブ折り動作チェックスイッチのみ動作します)

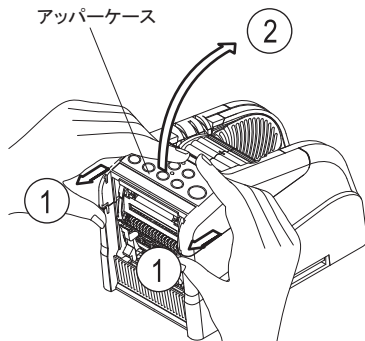
■タブ折り動作チェックスイッチを長押しします。
(タブ折り機構が最大開口まで動作して停止します)

■詰まっているテープをピンセットなどを使用して除去します。

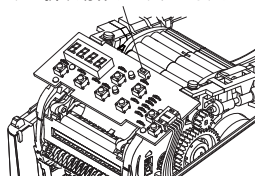
■タブ折り動作チェックスイッチをもう一度長押しします。
(タブ折り機構が待機位置まで動作して停止します)

■アッパーケースを閉じて、ブレードユニットを取り付けます。

■通常の手順に従ってテープをセットしてください。



タブ折り動作チェックスイッチ



エラーメッセージ

本機を使用中にブザーが鳴って停止した場合、以下のエラーメッセージを表示します。

その場合は、エラーの原因を取り除いた後通常の手順に従って再度テープをセットし直してください。

E-02 ブレード位置エラー

テープがブレードの間に挟まった時やブレードユニットが確実にセットされていない時など、ブレードが動作の途中で止まってしまった時に表示されます。

・電源スイッチをOFFにし、ブレードユニットを取り外します。

・電源スイッチをONにします。

・スタートボタンを押します。(ブレード作動機構が待機位置に移動します)

・FWDボタンを押してテープを送り出し、ローラーユニットとブレードユニットの間にあるテープをハサミなどで切ります。

・REVボタンを押してテープを抜き取ります。

・ブレードユニットを清掃し、下刃ガイドにブレードオイルを少量塗布します。

・下側ブレードを下端の位置にした後、ブレードユニットを本体に取り付けます。

・ブレードユニットを本体に取り付ける際は、ブレードユニットが確実に固定されるようしっかり押し込んでください。

・通常の手順に従ってテープをセットし直してください。

E-02

電源スイッチをOFFにする



ブレードユニットを取り外す



電源スイッチをONにする



ブレード作動機構を待機位置に移動



テープを送り出す



ローラーユニットとブレードユニットの間のテープを取る



テープ抜き取り



ブレードユニット清掃・取付け



テープセット

E-03 テープ送りモーター位置エラー

テープを送っている時に、モーターに過負荷がかかって停止した場合に表示されます。

- ・スタートボタンを押してエラー表示を解除します。
- ・REVボタンを押してテープをバックさせ、ローラーユニットよりテープを取り出します。
- ・カット刃周辺やローラーユニットをよく確認し、切り屑等をピンセット等で取り除きます。
- ・通常の手順に従ってテープをセットし直してください。

E-04 タブ折りモーター位置エラー

タブ折り動作の時に、モーターに過負荷がかかって停止した時に表示されます。

- ・ブレードユニットを外します。
- ・電源スイッチをOFFにし、電源コードを本体から外します。
- ・「テープ詰まりが起きた時は」項を参考にして、アッパーケースを開けます。
- ・電源コードを本体に差込み、電源スイッチをONにします。
(アッパーケースを開けた状態では、タブ折り動作チェックスイッチのみ動作します)
- ・タブ折り動作チェックスイッチを長押しします。
(タブ折り機構が最大開口まで動作して停止します)
- ・ピンセット等を使用して、タブ折り機構に挟まったテープを引き出します。
- ・もう一度タブ折り動作チェックスイッチを長押しします。
(タブ折り機構が待機位置まで動作して停止します。この時エラーが解除されます)
- ・アッパーケースを閉じます。
(操作基盤に通電し、表示・ボタン操作機能が復帰します)
- ・REVボタンを押しながらテープを後ろに引き抜きます。
- ・ブレードユニットを取り付けます。
- ・通常の手順に従ってテープをセットしてください。

E-03



エラー解除



テープ取り出し



切り屑等を取り除く



テープセット

E-04

ブレードユニット取り外し



アッパーケースを開ける



タブ折り動作チェックスイッチ

長押し ↓

挟まったテープを引き出す



タブ折り動作チェックスイッチ

長押し ↓

アッパーケースを閉じる



ブレードユニット取り付け



テープセット



エラーの原因を取り除く際、ブレードには絶対に触れないようご注意ください。



エラーの原因を取り除いても作動しない時、又はエラーメッセージが表示されていない状態で本機に異常が発生した場合は、速やかに電源スイッチをOFFにし、使用を中止してください。



展開時に数1000Vの強い静電気が発生するテープは使用しないでください。故障や誤動作の原因になります。

故障診断

故障と判断する前に、以下の項目をチェックしてください。

| | | |
|---------------------------------|---|--|
| 電源スイッチをONにしても動かない | ACコードインレットにACコードが奥まで差込まれていない | コードが確実に差し込まれているか確認してください。 |
| | ヒューズが断線している | 新しいヒューズに交換してください。 ただし、頻繁にヒューズが切れる時は直ちに使用を中止してください。 |
| オートモード時、テープを取っても次のテープが出て来ない | センサーの上に異物が付着している | 異物を取り除いてください。 |
| | テープがセンサーの上を通過していない | 幅が25mm以下のテープを使用する時はセパレータを使用してください。 |
| | センサーに強い光が当たって誤作動している | 本機の設置位置を移動してください |
| | 反射率が極端に低いテープを使用している | テープの種類や使用環境によっては、オートモードで使用出来ないテープがあります。 |
| テープの長さが設定値と違う | 展開力が強いテープを使用している 滑りやすいテープを使用している 伸縮テープを使用している | テストカットして誤差を修正してください。 |
| ブレードユニットを取り付けて動かしたらE-02エラー表示が出た | ブレードユニット下刃が所定の位置から外れて本体に取り付けられている | P12 エラーメッセージ E-02 ブレード位置エラー項を参照のうえ、ブレードユニットをセットし直してください。 |
| 電源スイッチをONにしても操作パネル表示が出ない | アッパーケースが所定の位置にはまっていない | アッパーケースが本体に密着するよう確実に取り付けてください。ブレードユニットを外した状態で行ってください) |



上記チェックをしても動作に異常がある時は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

仕様

| | |
|----------|--|
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 入力電圧範囲 | ±5% |
| 消費電力 | 25 W |
| 寸法 | 116 W x 148 H x 222 D (mm) (突起部含まず) |
| 重量 | 1.83kg |
| 材質 | ABS樹脂 |
| 切断可能テープ幅 | 6～60 mm (注1) |
| 切断可能送り長さ | 5～999 mm(前折り機能OFF)/15～999mm(前折り機能ON) (注2) |
| テープ送り速度 | 200 mm/秒(クラフトテープ) 53枚/分(クラフトテープ100mmカット) 43枚/分(クラフトテープ100mmカットタブ折り) |
| 最大テープ外径 | Φ300 (注3) |
| 付属品 | 電源コード 2Aスペアヒューズ(ACインレット内蔵) セパレータ ガイド ブレードオイル |

注1)、注2)、注3)について、テープの種類、使用状況によっては使用できない場合があります。本製品は、改良のため予告なしに仕様変更する場合があります。予めご了承ください。

保証書

この製品には保証書を添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間はお買い上げの日から6ヶ月間です。一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談及びご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

「故障診断」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社にて修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理の時に必要な情報

トラブルの状況をできるだけ詳しく書いたメモを修理品と一緒にお送りください。

<無料修理規定>

1. 本保証書に明示の保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買い上げの販売店または当社にて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または当社に必ず本保証書をご提示の上、お申し付けください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書替えられた場合
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (4) お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
 - (6) 一部消耗部品の交換（ブレードユニット等）
 - (7) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

修理メモ

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。



<http://www.yaesu1965.com/>

保証書

| | | |
|-------------------|-----|--------|
| 製品型名 Z CUT -10 | | 製造番号 |
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所 | |
| お買い上げ日 | | 販売店名・印 |
| 年 月 日 | | |
| 保証期間 | | |
| 本体: | 6ヶ月 | |

お客様の正常な使用において万一故障した場合には、本書裏面に記載の保証規定により無料修理させていただきます。

- 修理は、本保証書を添えてお買い上げ販売店または、当社にご相談ください。
 - 本保証書はお買い上げ年月日、販売店名の記載捺印のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
 - 本保証書は再発行しません。
- 大切に保管してください。
(裏面をご覧ください。)

ヤエス軽工業株式会社

〒120-0041
東京都足立区千住元町39-8
TEL: 03-3888-8751
FAX: 03-3888-1592